

2012年5月15日発行

K

(社)神奈川県理学療法士会ニュース  
The Kanagawa  
Physical Therapy Association  
News

P

5 2012  
May  
No.245

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 加賀谷善教

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[24.4.1現在]

3,369名

## Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告 P5▶information P7▶新人教育プログラム P8▶講習会・研修会 P12▶理事会報告  
P17▶ちょいと P18▶解剖こぼれ話/いい本みつけ P19▶学会情報 P24▶求人案内 P28▶編集後記/原稿・広告送付先

## 巻頭言



## 公益社団法人格取得に向けて

社団法人神奈川県理学療法士会 会長 秋田 裕

公益か、それとも一般か、どちらを選びますかと問われても、おそらくほとんどの会員諸氏は即答できずに戸惑うことではないでしょうか。

本会は、一昨年の総会での決議を経て、公益社団法人への移行認定に必要な申請手続きをすべて終え、現在、認可を待つばかりの段階となっています。公益社団法人と一般社団法人は何が違うのか？ ここで改めて整理しておきましょう。

わが国の公益法人制度は、1896年（明治29年）の民法制定とともに創設されましたが、この公益法人とは、宗教や慈善、学術、芸芸など広く社会の役に立つこと、すなわち公益性を持った法人を位置づける制度としてスタートしたのです。

しかし100年以上が経過し、その間、公益法人制度の抜本的な改革は行わなかったために、世の中の変化とのズレも大きくなっていました。そこで2008年12月に公益法人制度改革関連3法が成立し、「新公益法人制度」が施行されました。これは、民間による非営利の活動を活発にし、民（みん）による公益事業を増進するとともに、官庁ごとに法人の設立・運営にばらつきがあって、公務員の天下りの温床であったり、補助金など税金のムダ使いが多いなどの問題を解決するのがこの制度改革の大きなポイントでした。

新制度の下では、従来の公益法人（本会も含まれる）は「特例民法法人」と位置づけられ、2013年11月30日までに「一般社団（財団）法人」あるいは「公益社団（財団）法人」のいずれかを選択するか、あるいは解散するかを求められています。

公益社団法人への移行は、有識者からなる県の公益認定等審査会によって審査がおこなわれ、内閣総理大臣あてに、認可基準に適合するのを認めるのが適当であるとの答申を

もって内閣府からの行政処分を受ける（＝認可が得られる）こととなりますが、この公益性を満たすか否かの審査基準というのは、不特定多数の者の利益（すわち公益）の実現を目的とする事業を行い、かつその公益目的事業に掛かる支出が全事業支出の50%を超えていることなどがチェックされます。

このようにあえてハードルの高い公益社団法人格取得を目指すという私たちの選択は、とりもなおさず「理学療法士は900万県民の健康な生活を守る専門職」である、という決意の表れでもあります。公益社団法人に比べ、一般社団法人は公益性の認定基準をクリアする必要はなく、一定の要件を満たせば登記によって法人格を取得することができます。公益性を持った団体であるとの公益社団法人認定は、社会的な信頼を得る証（あかし）であり、他の団体との差別化を計る「ブランド力」獲得につながることであります。

1996年に県から「社団法人」設立許可が得られたことは、会の歴史に残る大きな出来事でした。旧制度の社団法人認可においても、公益に関する事業を行うことが必須の条件でしたが、前年に協会の理学療法週間モデル事業として実施した、県民向け講演会、公開シンポジウム、施設見学会、介護教室、理学療法相談会などが、その後の県民向け公益事業の拡大にも大きく寄与したと考えています。

協会倫理規定には「理学療法士は、患者の医療・福祉に寄与するために、常に高水準の専門知識と技術の習得、維持に努めこれを実践に生かす」と明示されています。本会でも県内の豊富な人材と施設を活用した生涯学習の場を展開しています。積極的な生涯学習の場への参加を通じて、県民のみなさまへの直接的・間接的なサービス向上に取り組んでいただきたい、と考える次第です。

## 活動報告

# PTと行政のコラボに朝日新聞も注目!!

小林病院 酒井 勇紀

平成23年11月19日、20日と開催された小田原ツデーマーチに「県西地区リハビリテーション連絡協議会 (<http://1st.geocities.jp/kenseitiku/index.html>) がメディカルサポートとして参加しました。小田原ツデーマーチは小田原市主催で、参加総数全国4位という全国的にも有名なウォーキング大会です。サポート内容は障害予防を目的に、スタート地点での血圧測定、中継地点でのストレッチ、テーピングを実施しました。障害者のウォーキングサポートも予定していましたが対象者はいらっしやいませんでした。対応内容は以下に示します。

### ■人数構成

参加スタッフ数 13名  
利用者総数 284名  
利用者平均年齢61.2歳（5歳～85歳）

### ■血圧測定について

利用者243名（男性 101名、女性 142名）  
高リスク者2名（最高血圧200以上2名、最低血圧120以上1名）

### ■ストレッチについて

利用者31名（下腿17名、大腿16名、膝3名、足部2名、腰1名）

### ■テーピングについて

利用者11名（足関節捻挫1名、膝4名、足指3名、足底水疱2名、下腿1名、外反母趾1名）  
※足関節捻挫者はテーピング固定後、赤十字救護班にて対応

### ■障害者参加者について

参加者4名（車椅子参加者2名、片麻痺杖歩行参加者1名、視覚障害参加者1名）  
※皆様同行者があり、ウォーキングサポート対象者不在。

小田原ツデーマーチにおいて、今回のようにリハビリテーション専門職が障害予防、障害者支援に取り組んだのは初めての試みでした。我々の活動を利用された方からのアンケートには「コース上のテーピング治療はありがたかった」等、多くの言葉を頂きました。さらに翌日の朝日新聞に今回の活動が掲載され、関心の高さを感じました。障害者支援のためのウォーキングサポートは利用者がいみせんでしたが、今後は事前案内を行い、障害を持った方の参加を促していけるようになりたいと思います。理学療法士として一般行事にサポーターとして関わりを持つことの意義と必要性を強く感じる良い機会となりました。

小田原出身の有名人、二宮金次郎先生は、「経済なき道徳は戯言である」とおっしゃったそうです。障害者支援、障害予防の取り組みに経済が後押ししてくれるような社会になるよう今はボランティアスタッフとして頑張ります！



## MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

義肢・装具・車椅子・座位保持・住宅改造

**SP-i**

(有)湘南義肢研究所

時代のニーズに合わせた義肢・装具づくり  
例えば、金属支柱付靴型下肢装具を  
一枚の皮から全てフルオーダーで作り上げます。  
納期は最短一週間。我々はそういう会社です。

横須賀市小川町27  
tel 046-822-6722  
fax 046-822-6425  
<http://sp-i.co.jp>



## 本牧中学校職業講話 感想文

神奈川県リハビリテーション病院 玉枝 香澄

平成24年2月2日、神奈川県理学療法士会の推薦により横浜市立本牧中学校第1学年の生徒さんに職業講話をさせていただきました。本牧中学校では進路学習の一環として、様々な職種の方に講師を依頼し、どのような仕事をしているか、その苦労ややり甲斐などについて生の声を聞く機会を設けています。今回は私のほかに、物流や動物園、販売などの分野の講話があり、約20名ずつの生徒さんに2回講演しました。

講話では事前に生徒さんから理学療法士についての質問を受け、それに対する回答や理学療法の流れ、私が理学療法士を目指したきっかけ、この職業をされていて良かったこと・辛かったことなどをお話しました。私は就職して1年目であり、その苦労や学生気分とのギャップを話すことで「働く」ことの責任や大変さを知ってもらい、将来の選択肢が一つでも広がれば良いなという思いで取り組みました。またリアリティーのあるものを見て生徒さん自身に何かを感じてほしかったので、実際に義足や義手を使用している患者さんのビデオを見てもらいました。義足の装着、歩行練習、浴槽に入る日常生活場面や義手の方が包丁を器用に使ってるなどをむく場面など、生徒さんの顔つきは真剣そ

のものでした。実際に患者さんの出来なかったことが出来るようになる場面や患者さんが笑顔になることが理学療法士の仕事として一番の醍醐味であると私も感じています。最後に義肢体験として体験用の義足をつけて歩いてもらったり筋電義手に触れてもらい、障害のある方がどんな工夫をして生活しているかをほんの一部ですが知っていただけたのではないかと思います。

後日、生徒さんから感想文が届きました。理学療法士という仕事に興味を持ちましたという感想や、こういう仕事についてみたいなという感想がありました。中には仕事をする責任や難しさを感じた生徒さんもありましたが、まだまだ無限に進路を選べる中学1年生に対して理学療法士の仕事を知ってもらえたことは大変意義のあることでした。

今回、人前で話すことが初めての体験であり大変緊張しましたが、相手に伝える難しさや反応を見ながら話す機会は大変良い経験になりました。今回このような機会を与えていただき、またご協力いただいた患者さん、関係者の方々には紙面をお借りしお礼申し上げます。ありがとうございました。





## 活動報告

# 家族介護に関するアンケート調査報告

会員ライフサポート部 清川 恵子

## 会員ライフサポート部 活動報告 第2報

今回は、昨年7月に皆様をお願いいたしました“家族介護に関するアンケート調査”の第2報についてご報告いたします。前回の第1報では“介護の現状と不安について”を中心にご報告させていただきました。アンケートから改めて就業継続の問題に家族介護があること、そして、それ

は決して他人事ではないと広く認識してもらうことが重要であるという結果に至りました。

第2報では「現在、介護をしている」と答えた方の中から“具体的な介護内容”について“生の声”から抜粋して年代別にお届けしたいと思います。

有効回答者数945名、回収率27.4%

現在介護中の人43名/945名 (4.6%)

介護中の人の内訳：【性別】男性19名、女性24名

【年齢】20歳代8名、30歳代9名、40歳代17名、50歳代5名、60歳代以上4名

### ◆全体

介護の具体的な内容を、自由記載の文面から集計すると、複数回答（回答者34名）で身体介護が20名（37.7%）、家事援助が16名（30.2%）、管理・調整役が12名（22.6%）、経済支援が3名（5.7%）、精神面のケアが2名（3.8%）でした。介護介入の頻度は、介護者と同居の場合、同居の家族の有無に関わらず、毎日という方がほとんどでした。別居の場合は、自宅と介護者宅を頻回に行き来をしながらの負担の大きい介護から、月1回程度の面会まで様々でした。男女関係なく、介護・援助をしている様子がわかりました。

介護中の負担、不安の内容としては、複数回答で経済面が16名（50.0%）、就業継続が12名（37.5%）、親族との関係・その他がそれぞれ7名（21.9%）でした。介護中だが負担、不安が「ない」と答えた人の背景としては、介護認定なし～要介護1の介護がほとんどで、要介護5の場合も施設入所での介護支援であり、同居者、親族の援助もある場合が多くありました。

### ◆20歳代

- ・女性A：認知症が進み、易怒性+なことや介護者に当てることもあり精神的負担が非常に多い。（同居・祖父母 支援2）
- ・男性B：週末に家事手伝い。（別居・祖父母 介護3）
- ・女性C：自分が休日の時には行動を共にしている。すべてのADLに促しを要している為、確認するようにしている。（同居・祖父母 介護1）

### ◆30歳代

- ・女性D：土日（休日）の私の外出に関して不安（一人になってしまうこと等）が怒りとなってしまうので自由に外出することができないことが4～5年続いていた。父が仕事を辞めて家事ができるように練習し、ここ数ヶ月ようやく土日の仕事や自分の時間が使えるようになった。介護内容は家事全般と mental care。年齢が若い分、介護保険という頭もなくレベルでもないですが、

病気を受容して前向きに活動することや、家族の負担を考えることは困難のようです。親なのであきらめるしかありません。「同居という名の介護」です。（同居・親 介護保険申請なし）

- ・女性E：家にいる間は常時。体交、食事介助など。（同居・親 介護5）

### ◆40歳代

- ・女性F：別居でヘルパー導入しています（毎日）。平日にいろいろな手続きに（遠隔地）いくくらいです。入院中は病院に洗濯など全てお願いしていました。遠距離での介護なので、肉体的につらいものがあります。（別居・親 介護1）
- ・男性G：週4回～5回身の回りの世話、食事、片付けなど。（別居・祖父母 介護1）
- ・男性H：食事、通院、雑務（Pトイレから、掃除、ペットボトルを開ける迄）。（同居・親 介護3）
- ・女性I：本人の身体機能が住環境とマッチしていないため今少しの機能改善と住環境の整備を行っている。その間の一時的な同居です。（親 申請中）
- ・男性J：週1、2回通院、1、2時間介護（妻PT常勤になれず）妻がいけない時私が代わりに行きます。（別居・親 介護2）

### ◆50歳代

- ・女性K：週1回食事介護。（施設・親 介護5）
- ・女性L：日中、本人は独り（見守りなし）。なんとか家の中は独りで動いているがしょっちゅう転倒している。食事も身の回りも全部介助が必要。薬の管理も必要。2～3日/月短期入所を5月～利用するようになった。（同居・親 介護2）

### ◆60歳代以上

- ・男性M：24時間泊まり込み（別のアパートを借りて2人を介護している）。（両親 介護5）



アンケートでは、現在介護中、将来の介護の可能性ともに性別、年齢に割合の差はほとんどなく、理学療法士としての知識や経験があっても「不安」との回答者は圧倒的に多くありました。理学療法士だからこそ、家族の介護にしっかり向き合いたい、または、周りから期待されるということがあるのかもしれませんが、知っているからこそ、対処もできる時もありますが、逆に負担を多く背負うこともあると感じました。

次回、第3報では「現在、介護をしていない」と答えた方の「将来の介護不安について」をご報告する予定です。

### 「PTママの会」より 第7回勉強会のご案内 ～スキルアップシリーズ Vol.3～

テーマ：「明日から役立つ！PNF 入門基礎・実践」

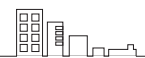
平成24年6月10日(日) さいたま赤十字病院

ランチ交流会・バザー、キッズルームあり

詳細・申し込みは PT ママの会：ptmama@hotmail.co.jp

河合麻美まで

## information



### 神奈川県理学療法士会 メールマガジン登録をお願いします

本会 HP に掲載される、講習会、求人、会員向け最新情報を定期的にメルマガにて配信しております。

ぜひ、下記より登録してください。

◆メールマガジン配信の登録はこちらから  
[https://www.pt-kanagawa.or.jp/reg\\_mg.html](https://www.pt-kanagawa.or.jp/reg_mg.html)



(年度末に送信エラーのメールアドレスは、本会で削除させていただきます)

ウェブサイト管理部 担当理事 福島 努

### 楽天カードへの手続きはお済みですか？

#### ☆協会指定会費決済クレジットカードが 楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- ・「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- ・会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- ・書籍購入（一部割引）等が可能となります。

\*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「[会員専用ページ](#)」より申し込み下さい。

\*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「[会員専用ページ](#)」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(社) 神奈川県理学療法士会  
事務局長 山口 泰成

### 会費口座振替のお知らせ

6月27日、平成24年度年会費が指定口座から引き落としされます。口座残高の確認をお願いします。

尚、楽天カードへの切替えがお済でない方は早急に手続きをお願いします。

\*手続きについては、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

## information

### 日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円）**となりますので、ご注意ください。

\*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

(社) 神奈川県理学療法士会  
事務局長 山口 泰成

### アクセス認証が必要です！

本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

ユーザー名とパスワードは同一

パスワードは1年毎に変更になります  
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい。

担当：ウェブサイト管理部

## 総 会 告 示

### 社団法人神奈川県理学療法士会 第32回通常総会

開催日：平成24年 6月24日（日）

\*開催時間は後日送付する総会資料にてお知らせします。

場 所：神奈川県立保健福祉大学

〒238-0013 横須賀市平成町1-10-1

※総会に出席できない場合は、必ず委任状を提出して下さい。



## 公益事業推進部からイベントの告知

2012年度のイベントを下記の通り開催します。今年は宮城県から講師を招き震災をテーマにした講座があります。一般向けの企画ですが興味がある会員のご参加も可能です。詳細は今後、ホームページに掲載します。公益事業推進部では部員・当日のお手伝いを随時募集しております。kanapt@kanagawa-rehab.or.jp 相馬宛までご連絡を下さい。

### ■理学療法フェスティバル2012

日 時：6月10日（日）11：30～

会 場：新都市プラザ

（横浜そごう前地下広場）

内 容：通路での理学療法の啓発活動

（写真は昨年の様子）



### ■理学療法フェスタ

公開講座 介護予防キャラバン

日 時：7月8日（日）14：00～

会 場：ミュージアム川崎シンフォニーホール 研修室

テーマ：サクセスフルエイジングー健やかに老いるー

### ■公開セミナー

日 時：7月22日（日）13：00～

会 場：藤沢市民会館 第2展示集会ホール

テーマ：東日本大震災における理学療法士の活動

ーこれまでとこれからー

### ■理学療法セミナー

日 時：8月4日（土）13：00～

会 場：横浜ラポール ラポールシアター

テーマ：卒業後に地域で暮らすために

ー現状と今後の課題を考えようー

### ■スポーツ傷害セミナー

日 時：8月5日（日）13：00～

会 場：横浜リハビリテーション専門学校

テーマ：足関節捻挫のリハビリテーション

ー解剖から応急処置・リハビリテーションまでー

## 新人教育プログラム



### 平成24年度 第1回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

神奈川県理学療法士会学術局生涯学習部

この度は、平成24年度の第1回新人教育プログラム研修会を開催しますのでお知らせいたします。

昨年度までは、ステップアップ方式により入会初年度は1年次のプログラムを、2年次には1年次と2年次のプログラムしか履修できませんでしたが、本年度よりステップアップ方式が廃止となったことに伴い、経験年数に関わらず自分が履修していないテーマが組まれている研修会があれば、参加登録ができるようになりました。

皆様の積極的な参加登録を、お待ちしております。

下記にも記載しておりますが、今年度より研修終了時においても「終了受付」をしていただくこととなります。予めご承知おきください。

1開催日：平成24年6月24日（日）9：00-17：00

受付開始8：30

2開催地：神奈川県立保健福祉大学 講堂

3交通：京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分

\*当駅は快速・特急が停車しませんのでご注意ください（案内図参照）。車での参加はご遠慮ください。（駐車場の準備はありません）

JR 横須賀線「横須賀」駅からバス「平成町循環」、「防衛大学」、「観音崎」、「堀内」、「かもめ団地」行きのいずれかに乗車し、「聖徳寺坂下」で下車。徒歩2分。

4受講費：1000円（研修会当日に何単位受講しても、受付時に支払うのは一日につき1,000円のみです。）

5内 容：新人教育プログラム研修会

6申込方法：申込は、事前 Web 登録方式です。当日受付は出来ませんので、必ず申込期間内に神奈川県理学療法士会ホームページから事前Web登録を行ってください！

原則的には、通知された会員番号を用いて事前 Web 登録を行っていただきます。

しかし、種々の理由により会員番号がない場合でも事前 Web 登録が行えるようにシステムを組んでいますので、必ず事前 Web 登録を行ってください。

なお、事前登録で申請したテーマ以外は単位認定

できません。ご承知おきください。

7定 員：450名（先着順）

※会場の関係上、事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきますので、お早めに登録されることをお勧めします。

申込開始日：平成24年5月21日（月）

申込締切日：平成24年6月15日（金）

時 間	研修会テーマ	単位
9：00-10：30	A-2. 協会組織と生涯学習システム(10：00-10：30総会含む)	1
10：40-11：40	A-1. 理学療法と倫理	1
昼 食		
13：00-14：00	A-3. リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)	1
14：10-15：10	A-4. 人間関係および接遇(労働衛生含む)	1
15：20-16：20	A-5. 理学療法における関連法規(労働法含む)	1

※「協会組織と生涯学習システム」は、総会の実体験も含めて1単位とします。

※研修が終了したら、改めて終了受付があります（途中退席する人も含む）。終了受付を済ませずに帰宅すると、単位認定できませんので、注意してください。

問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション室

E-mail: reha-ykh@ykh.gr.jp

担当：生涯学習部長 木村充広

## 講習会・研修会

### スポーツ理学療法講習会開催のお知らせ

神奈川県理学療法士会では、スポーツに関わるボランティアとして夏の高校野球、秋の国体に人員を派遣しております。そこで、スポーツ選手に関わりを持ちたい理学療法士を援助するため、スポーツ理学療法講習会（基礎編）を開催いたします。積極的な会員のご参加をお待ちしております。なお、高校野球メディカルサポートへのボランティア参加を希望される方は、優先して講習会登録いたします（応募者多数の場合は抽選）。

今回、第1回と第2回の講習会について募集いたします。第3回と第4回は秋以降の募集となります。

#### 第1回スポーツ理学療法講習会

内 容：スポーツ傷害総論

日 時：6月1日（金）19：00～20：30（18：30受付開始）

場 所：東芝林間病院 リハビリテーション室

内 容：スポーツ傷害の定義について解説し、代表的なスポーツ傷害とスポーツ理学療法を紹介いたします。実技はスポーツ現場で用いられている評価として、関節弛緩性と筋柔軟性について全員で実習を行います（初心者から初級者を対象）。

参加費：1,000円

定 員：30名

#### 第2回スポーツ理学療法講習会

内 容：スポーツ現場で必要とされる一次救命処置に関する情報を解説します。数名単位でマネキンを用いて心肺蘇生法、AEDについて実習を行います。

日 時：6月16日（土）15：00～17：00（14：30受付開始）

場 所：北里大学病院 リハビリテーション室

参加費：1,000円

定 員：30名

応募要領：神奈川県理学療法士会のHPより申し込んでください。申込み要項は以下のとおりです。参加の可否については、募集締切り後に通知いたします。

(1)氏名、(2)所属、(3)メールアドレス、(4)希望講習会、(5)高校野球メディカルサポートへの参加希望：有・無

問い合わせ先：渡邊 裕之（スポーツ支援・健康増進部）

E-mail：hw@ahs.kitasato-u.ac.jp

### 楽習学研究会主催 ワークショップ

#### 創造性に富んだ会話を展開する —基礎編—

日 時：2012年6月20日（水）

受 付：18：30より 19：00～21：00（課題終了次第終了）

テ ー マ：ワールドカフェってどんなもの？  
—リラックスした会議—

内 容：Juanita Brown（アニータ・ブラウン）氏と David Isaacs（デイビッド・アイザックス）氏によって、1995年に開発・提唱された、ワールドカフェ。本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行うことで、創造性に富んだ対話を行うことができるというもの。今回はその、基本的な仕組みを学んでいきたいと思います。

ホ ス ト：ふれあい東戸塚ホスピタル

佐野 徳雄

茅ヶ崎新北稜病院

中村 壽志

会 場：茅ヶ崎市民ギャラリー 会議室

〒253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町1-1 ネスパ茅ヶ崎

会 費：1,000円

持 ち 物：多色のペン、カメラ（携帯のカメラでも可）

募集定員：25名（定員）

申し込み要領：下記アドレスフォームにて必要事項を記入し送付してください。運営部からの連絡をもって受講とさせていただきます。



<http://goo.gl/axor8>

※携帯からも登録可能です。

受付期間：5月18日～6月18日

受講決定はメール送信をもって報告とさせていただきます。

問い合わせ先：楽習学研究会 運営部 中村壽志

Mail：fun.learning.organization@gmail.com

HP：http://fun-learning.jimdo.com/





## 高校野球メディカルサポートボランティア募集

神奈川県理学療法士会では、毎年夏の高校野球神奈川県大会のメディカルサポートを実施しています。内容は試合終了後整形外科医による登板投手の検診、理学療法士によるストレッチを主体としたクールダウンです。理学療法士であればどなたでも実施可能な内容であり、事前勉強会も実施いたします。今年もボランティアを募集いたしますので、下記要領にてお申込みください。

- 内 容**：高校野球神奈川県大会準々決勝以上7試合のメディカルサポート
- 日 程**：7月25日～30日（7月27日と30日は予備日）
- 申込締切**：6月15日（金）
- 資 格**：理学療法士協会会員（理学療法士賠償保険に加入済みか大会までに加入予定の方）

**事前勉強会**：2日間を予定。内容は両日ともに同じです。実際にスタジアムで行う手技を指導します。参加申込者はどちらかの勉強会に参加いただきます。事前勉強会の場所、日程につきましてはお申し込みいただいた方にご連絡します。申込み多数の場合は、過去の参加経験、勉強会参加状況を考慮し決定します。

**申込み・問合せ**：下記内容を記入し、メールにてお申込み・お問い合わせください

- ①氏名、②所属、③携帯電話番号、④メールアドレス（パソコンメールが望ましい）、⑤ボランティア参加希望日（複数可）⑥過去の参加経験  
渡邊 裕之（スポーツ支援・健康増進部）  
E-mail：hw@ahs.kitasato-u.ac.jp

## 平成24年度 学術サークル助成の公募のお知らせ

本会では、会員の幅広い学術活動の活性化及び会員相互の親睦を深める目的で、下記の要領で学術サークルを公募し助成を行います。たくさんの応募をお待ちしています。

### 公募の要項

#### 1. 目的

本会会員の学術活動の活性化及び親睦を深めるために助成する。

#### 2. 対象となる学術サークルの規定

- 1) 学術サークルの構成員はすべて本会会員であること
- 2) 理学療法に関する学術活動を目的とするサークルであること
- 3) 新人教育プログラム「症例検討Ⅲ」の単位取得対象会員への援助を行うこと
- 4) 2施設以上の本会会員で構成されているサークルであること  
(施設に所属していない会員は1施設と見なす。2施設以上の本会会員で構成されていても同一の養成校のみの構成員によるサークルは認められない。)
- 5) 3名以上の本会会員で構成されているサークルであること
- 6) 定期的開催されているサークルであること
- 7) 本会学術局の要請があれば、県学会等で活動報告を行うこと

#### 3. 応募要項

サークルの主な活動目的、活動予定、構成員の氏名、所属施設名を所定の「学術サークル助成申請書（士会 HP よりダウンロード）」に記入し、本会学術局へ提出する。

#### 4. 応募先

(社)神奈川県理学療法士会 学術局長 佐藤史子宛  
住所：〒220-0003横浜市西区楠町4-12 アーリア20、101号  
TEL045-326-3225

#### 5. 助成金の額

- 1) 1サークルに対し上限を¥30,000円とする。
- 2) 助成金の交付は、下記指定日までに活動・会計報告がなされた後に行う。

#### 6. 応募締め切り

平成24年8月31日

#### 7. 助成サークルの決定と通知

理事会で承認され助成事業の対象と決定したサークルには別途通知する。

#### 8. 助成該当サークルの責務

年度末までに学術局宛て（応募先と同様）に活動報告と会計報告を行う。

本会学術局の要請があれば、県学会等で活動報告を行う。  
問合せ先：佐藤史子（(社)神奈川県理学療法士会 学術局長）  
E-mail：sato.f@pt-kanagawa.or.jp



## 講習会・研修会

### 内部障害に対するリハビリテーションリスク管理

**日 時**：2012年 6 月 3 日（日）10時00分～16時30分（9時30分受付開始）

**会 場**：学校法人湘南ふれあい学園 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 講堂もしくは体育館

**内 容**：急性期から維持期にかけて、日々の臨床場面で合併症として様々な内部疾患を抱える患者さん・利用者さんが増えてきました。  
本講習会では、特に高齢循環器疾患を有する方に対する診方や考え方の解説を通して、心臓-呼吸-腎臓の連関、リハビリテーションを実施する際のリスク管理を習得するのが目的です。

・病態の理解

・カルテ情報の取り方（気をつけるポイント）  
・主治医への確認事項  
・評価、アセスメントのポイント  
・理学療法の実際

**講 師**：高橋哲也先生（東京工科大学医療保健学部）

**受講・定員**：10,000円（事前振込み）（先着順100名）

**申し込み先**：療法士.com にて受付中

**担 当 者**：療法士.com 編集部 山田

<http://ryouhou.com/modules/column/ryouhou.com-planning/seminar-2st.html>

### 若手療法士のための姿勢制御の評価と治療のポイント

**日 時**：2012年 6 月 16 日（土）10時00分～16時30分（9時30分受付開始）

**会 場**：ウィリング横浜 研修室

**内 容**：人の姿勢の制御は簡単ではないように思います。さらにそれを運動療法に適應させるためには基本的な理解が必要であると考えられます。  
そのため本講義では、どのような治療アプローチを行う場合にも有効と考えられる姿勢や動作のとらえ方の基本を提示します。  
身体重心、足圧中心は力学的解釈には重要な部位

であり、これらのコントロールを施行する前後での変化やその解釈について述べたいと思います。

**講 師**：福井勉先生（文京学院大学 教授）

**受講・定員**：10,000円（事前振込み）（先着順100名）

**申し込み先**：療法士.com にて受付中

**担 当 者**：療法士.com 編集部 山田

<http://ryouhou.com/modules/column/ryouhou.complanning/seminar-2st.html>

### 動作分析・歩行分析の基礎となるバイオメカニクスの徹底理解

**主 催**：臨床歩行分析研究会  
新潟医療福祉大学

**参 加 費**：初級編・中級編各々30,000円、両方受講55,000円

**申し込み先**：E-mail [otake@nuhw.ac.jp](mailto:otake@nuhw.ac.jp) (新潟医療福祉大学 大竹宏)

**日 時**：初級編 平成24年 7 月 14 日（土）、15 日（日）、  
16 日（月）  
中級編 平成24年 8 月 17 日（金）、18 日（土）、  
19 日（日）

**会 場**：新潟医療福祉大学東京キャンパス（東京駅サピアタワー10F）



## CSPT2012 クリニカルスポーツ理学療法 【関東】

### 研修会の目的・内容：

【目的】 8回シリーズで開催するCSPT2012では、8つの部位それぞれについて、1日かけて基礎的な知識の習得から徒手療法を含む治療技術までを講習いたします。理論と実技を同時に学べる内容となり、翌日から臨床で活かせる構成です。経験を積まれた先生方にも関節疾患治療の新たな視点を、若手の先生方には評価の基礎から治療の実際までを講習します。

### 開催日程：

テーマ	関東
足 部	4月21日(土)
足関節	4月22日(日)
膝関節	5月19日(土)
股関節・鼠径部	5月20日(日)
コア評価	6月16日(土)
コア治療	6月17日(日)
肩関節	7月14日(土)
肘関節	7月15日(日)

講習時間：土曜日 14：00～20：30、日曜日 9：30～17：00

会 場：第1回・第5回 ハロー貸会議室横浜関内  
(〒231-0047 神奈川県横浜市中区羽衣町2-4-4 横浜 RK ビル4階)  
第2回～第4回・第6回～第8回 横浜市スポーツ  
医科学センター  
(〒222-0036 横浜市港北区小机町3302-5)

参加費：8日セット 63,000円(税込)  
※1回あたりの受講料：7,875円  
2日セット 21,000円(税込)、1日12,600円(税込)

定 員：100名(先着順)

プログラム：(各テーマ)

1. 解剖学・運動学・バイオメカニクス
2. 病態評価と機能評価(座学・実技)
3. 症例検討
4. リハビリテーション(座学・実技)

お申し込み：下のリンク先のページにアクセスし、該当セミナーの「カゴへ入れる」ボタンを押して決済へと進んでください。

<http://www.glabshop.com/seminar/cspt-seminar/>

お問い合わせ：株式会社 GLAB CSPT セミナー事務局 seminar@glab.biz

## 第2回神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング

テ ー マ：訪問リハビリテーションの普及に向けて  
ー 私たちにできることー

内 容：訪問リハビリテーションの普及に向けての取り組みについて理学療法士・作業療法士・言語聴覚士共同でグループワーク等を通して考えていきます

日 時：平成24年6月17日(日) 10：00～16：30  
(9：30受付開始)

会 場：ウィリング横浜

受 講 料：神奈川県理学療法士会員無料(作業療法士・言語聴覚士の方はホームページまたは各窓口にて内容をご確認ください)

定 員：70名

申込期間：平成24年5月1日(火)～5月31日(木) 17：00まで

申込条件：①訪問リハビリテーションに従事している方  
②メーリングリスト登録(参加者全員)に同意いただける方

※応募者多数の場合には訪問リハビリテーション実務者研修会受講者を優先いたします

申込方法：【理学療法士の場合】

ホームページからの受付となります。神奈川県理学療法士会ホームページより「講習会研修会情報」の本研修会案内中の申込フォームからお申し込み下さい。<http://www.pt-kanagawa.or.jp>

【作業療法士、言語聴覚士の場合】

ホームページやご案内を確認の上、所定の連絡先へお申し込みください。

問い合わせ：介護老人保健施設アゼリア リハビリテーション科 相川浩一 電話046-231-1311(代)

共 催：社団法人神奈川県理学療法士会 一般社団法人神奈川県作業療法士会



2011年度

# 第5回 理事会報告

日 時：2011年11月26日（土） 15：30～19：15

場 所：神奈川県理学療法士会事務所

理事定数：15名

出席理事 ● 秋田 裕 / 隆島研吾 / 炭 孝昭 / 林 克郎 / 大槻かおる / 菅原憲一 / 広瀬好郎 / 福島 努 / 惣田 洋 / 露木昭彰 / 佐藤史子 / 太附広明 / 湯田健二

欠席理事 ● 山口泰成 / 清水 忍

出席監事 ● 君嶋武司 / 井上 保 / 安藤徳彦

出席者 ● 第29回神奈川県理学療法士学会長 前田大助 / 準備委員長 酒井勇紀

出席事務局員 ● 小野田誠子 / 小林和美

## ■ 議事内容

### I. 会長挨拶・会長行動報告

11月16日（水）県保健衛生表彰式で表彰されたことが報告された。

12月17日（土）理事会は、来年度事業計画案の予算検討のため各担当理事に協力が依頼された。

### II. 中間監査会について（報告）

井上監事より、2011年度中間監査報告がされた。

### III. 相談役会について（報告）

山口議員の後援会組織について、秋田会長を中心に別組織を計画する予定と報告された。

相談役会の前に内容を整備すると報告された。

### IV. 県病院医療関連職種連絡協議会について（報告）

10月21日（金）に開催され、黒岩神奈川県知事との1時間余りの懇談会が行われたことが報告された。

### V. 日本の医療を守るための総決起大会について（審議・承認）

11月29日（火）6時30分～7時30分に神奈川県総合医療会館で開催される県民集會に8名の動員依頼があり、秋田会長、炭副会長、林副会長、大槻社会局長、広瀬理事、惣田理事 計6名が選出され承認された。他に参加可能な者がいれば参加を依頼する。

### VI. 次期学会長について（報告）

横浜南部地区が担当し、上杉先生を中心に検討しているが難航しているため次回理事会で承認することとなった。

### VII. 組織変更について（承認・報告）

中途障害支援部で行っていた施設動向調査の作業については、次年度より行わないことが承認された。

今後、事務局の中に調査部を置くことも視野に入れ、一部作業を事務局員が行う方向であることが報告された。具体的な内容については、これから検討することとなった。

次年度予算は、事務局の中に組入れると報告された。スポーツ支援・健康増進部と介護保険部は、組織を変更せず、係として次年度予算に組み込み活動することが報告された。

### VIII. 講習会謝金規定案について（審議・承認） 学術局・社会局共同提案

1. 謝金①、2. 交通費、3. 弁当代について承認された。

規定集を整備中のため、内規に追記すると報告された。

### IX. 研修会受講料を差別化する件・キャンセル対応の件（報告）

進捗状況について、報告された。

情報を収集し、検討し直し再度提案すると報告された。（会員との差別化等）

### X. その他各局部・委員会報告（報告・承認）

#### 1. 賛助会員懇談会

11月26日（土）13：00～14：30賛助会員懇談会が初めて開催されたと報告があった。

来年度以降の開催についても検討・提案された。

#### 2. 事務局

##### ① 会員異動報告、入会者の承認

・前回理事会より入会26名が承認され、転入8名、転出10名、休会1名、復会1名、退会0名、県内異動24名があり、11月26日現在での会員数3,420名であることが報告された。

・賛助会員C会員に「㈱茶利 チャーリーケア」の入会希望が報告された。

承認の判断をするため、事前調査として会社情報を入手することが確認された

##### ② 各種団体よりの依頼事項の件

・2011年度神奈川県トレーナー研修会（後期）開催に伴う後援名義使用について依頼があり、承認された。：神奈川県体育協会

・2012年2月11日（土）に開催される「第8回かながわ地域リハビリテーションフォーラム」の、開催に



について、承認された。：神奈川県総合リハビリテーション事業団

- ・2012年3月11日(日)開催される人工呼吸器セミナー後援依頼が、承認された。：神奈川県臨床工学技士会
- ・2012年1月21、22日に開催される在宅高齢者の「食べること」を支援するための栄養ケアチーム研修へのご協力のお願があり、主催団体のHP等を確認し、後援・HP掲載・メルマガについて協力をすることが承認された。：日本健康・栄養システム学会
- ・2012年2月11、12日に開催される「提案型管理者育成を目指したワークショップ」参加者推薦の依頼があり、2名参加可能のところ大槻社会局長の参加が承認された。

推薦以外で参加する場合は、直接、日本理学療法士協会のHPより申込むことが、確認された。：日本理学療法士協会

- ・調査の為の協力施設、推薦の依頼があり、各理事より5件推薦し事務局が集約する事が承認された。推薦条件等は、メールで送信することとなった。推薦する施設は、次回理事会で承認することとなった。：日本理学療法士協会
- ・12月2日(金)に使用予定の会議室使用申請が、承認された。：神奈川県糖尿病療養指導研究会
- ・住宅改修に関する連携事業共催依頼について依頼があり、共催ではなく後援又は協力とすることで再度依頼書を提出してもらい次回理事会で承認することとなった。：神奈川県建築士会
- ・2011年度神奈川県セントラルトレーニングセンターU-15、U-16トレーナー委嘱について依頼があり、承認された。：神奈川県サッカー協会
- ・第30回協会賞受賞候補者の推薦について依頼があったが、該当者がいない為推薦をしないこととなった。：日本理学療法士協会

#### 《報告文書》

- ・「すこやかかながわ一万人健康ウォーク事業に関するアンケート」集計結果と今後について(報告)：すこやかかながわ一万人健康ウォーク実行委員会
- ・第16回医療・健康フェスティバル事業報告書：神奈川県保険医協会
- ・第30回神奈川県病院学会プログラム及び抄録について(案内)：神奈川県病院協会
- ・2011年度神奈川県保健衛生表彰知事表彰の決定について(通知)：神奈川県医療課
- ・学会運営検討委員会の開催について(お願い)：関東甲信越ブロック協議会
- ・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行について(通知)：神奈川県保健医療部

#### ③各部事業報告

##### a) ニュース編集部

- ・2012年1・3月号ニュースの巻頭言、執筆担当予

定者を確認、報告された。

- ・次年度より、年度初めと終わりは会長が担当し、それ以外は会員の方々に依頼をすると報告された。

##### b) ウェブサイト管理部

- ・公益法人に向け、HPのリニューアルを検討中、デザイン、システムを依頼中であると報告された。
- ・事務局員が、業務のサポートをすると報告された。

##### c) 広報部

- ・番組制作会社と打合せを行い、今後メディアを通じての広報活動を検討していることが報告された。県士会としての意向を反映しているのか、費用対効果等、再度理事会で企画会社も一緒に検討することとなった。

#### 3. 学術局

- ・11月14日(月)に開催された第30回神奈川県病院学会参加の報告がされた。
- ・神奈川県理学療法士会 学術大会部業務規定(案)と神奈川県理学療法士学会運営規定(案)について再度提案された。

##### a) 生涯学習部

- ・2012年度からの新プロに関わる変更点について報告された。

##### b) 学術講習部

- ・10月20日(木)に第4回、11月24日(木)に第5回学術講習部会議が開催されたと報告された。
- ・10月23日(日)に横浜市立大学医学部へボンホールにて第2回講習会が開催されたと報告された。
- ・11月20日(日)に昭和大学藤が丘リハビリテーション病院にてリーダー研修会が開催されたと報告された。
- ・10月15日(土)東京工科大学にて協会研修部関東甲信越ブロック協力スタッフ会議に参加したと報告がされた。
- ・講習会アシスタント謝金について社会局と意見調整し一案にまとめて提出され、1. ①案並びに2. 交通費3. 弁当代が承認された。

##### c) 学術大会部

- ・第30回(平成24年度)神奈川県理学療法士学会について報告された。
- ・抄録のISSN登録について抄録集「技術と研究」の冊子とし、ISSN登録をすることが承認された。

##### d) 学術誌編集部

- ・会誌「技術と研究」の編集作業についての報告がされた。

##### e) 査読委員会

- ・投稿原稿を査読中、数編は終了済と報告された。

##### f) 臨床実習教育部

- ・10月16日(日)に開催された研修会(新人教育プログラム)の報告がされた。
- ・2012年2月5日(日)に3年次新人教育プログラム研修会が、開催されると報告された。

#### 4. 社会局

- ・10月21日（金）に開催された神奈川県医療専門職連合会理事会主催の公開セミナーの報告がされた。
- ・11月16日（水）に開催された神奈川県医療専門職連合会主催の第107回理事会の報告がされた。
- ・神奈川県介護支援専門員協会の報告がされた。
- ・11月26日（土）に開催された第2回神奈川県リハビリテーション協議会連携指針検討部会の報告がされた。
- ・9月25日（日）に開催された神奈川県身体障害者社会参加推進センター主催の歩行訓練会の報告がされた。

##### ①各部事業報告

##### a) 会員ライフサポート部

- ・11月13日（日）に開催された研修会参加のためのパイロット事業の報告がされた。参加者24名、子供5名、お父さん理学療法士が初参加した。

##### b) 介護保険部

- ・訪問リハビリテーションへの対応を強化するため増員予定であると報告された。

##### c) 発達障害支援部

- ・次年度事業計画案検討のため1名増員の報告がされた。

##### d) 公益事業推進部

- ・健康生活展 かながわ健康財団よりアンケート結果の報告と今後の方向性が報告された。

#### 5. その他の委員会

##### a) 第29回神奈川県理学士学会準備委員会

##### 運営部

- ・進捗状況の報告がされた。  
弁当飲食については、業者を選定し200食準備。5階で販売、教室で飲食可。  
キッズルームについて、再度確認して理事会に報告することが、確認された。  
企業ブースについては、企業間での話し合っていたことが、確認された。

一般の申込みに関しては、HP と FAX からとし受付を事務局が行う事が確認された。

講師謝礼金が予算では、不足のため、他の学会予算より補填することが報告された。

##### b) 公益法人対策委員会

- ・申請書類が返却後、内閣府への電子申請を行う予定と報告された。指導監査課から、文書課へ廻すこととなったことで年度内の移行は難しくなると報告された。

##### c) 選挙管理委員会

- ・選挙の公示が、11月15日 HP 掲載されたと報告された。

##### d) 組織強化委員会

- ・意識調査の協力依頼中であり、報告は年度末にするると報告された。
- ・本会より神奈川県リハビリテーション研究会の監事に推薦され、役員会・研究会に参加したことが、報告された。

#### XI. 議事録承認

2011年度第4回理事会議事録が承認された。

2011年度臨時理事会議事録が承認された。



月	日	内容	場所
2月	6日(月)	住宅改修ガイドブック編集委員会	波止場会館
	7日(火)	第6回常任理事会	事務所
	11日(土)	第7回理事会	事務所
	14日(火)	住宅改修ガイドブック編集委員会ワーキンググループ	波止場会館
	16日(木)	山口和之氏後援会神奈川県事務所打合せ	横須賀
	18日(土)	関東甲信越ブロック協議会・長野県士会設立40周年	ホテルメトロポリタン長野
	22日(水)	49回学会準備委員会三役会	事務所
	25日(土)	山口和之君を囲む会	大森東急イン
	26日(日)	介護報酬改定講習会開会あいさつ	ワールドポーターズ
	3月	6日(火)	49回学会準備委員会
12日(月)		山口和之氏後援会神奈川県事務所設立会議	事務所
15日(木)		次年度事業意見交換会	事務所
22日(木)		49回学会運営業者ヒアリング	事務所
25日(日)		県学会・第31回通常総会	国際医療福祉大学
26日(月)		神奈川県リハビリテーション協議会	県総合医療会館
28日(水)		県医療専門職連合会総会・公開講座	中外製薬会議室

2011年度

# 第6回 理事会報告

日 時：2011年12月17日（土） 15：00～19：00

場 所：神奈川県理学療法士会事務所

理事定数：15名

出席理事 ● 秋田 裕 / 隆島研吾 / 炭 孝昭 / 林 克郎 / 山口泰成 / 大槻かおる / 菅原憲一 / 広瀬好郎 / 福島 努 / 惣田 洋 / 露木昭彰 / 佐藤史子 / 湯田健二 / 清水 忍

欠席理事 ● 太附広明

出席監事 ● 井上 保

出席部長 ● 委員長：小山理恵子 / 坂本美喜 / 田中宇徳（代理） / 相馬光一 / 渡辺裕之 / 長澤充城子 / 布施直樹（代理） / 今井真紀 / 手塚純一（代理） / 寺尾詩子（代理） / 伊藤智一 / 田中さえ子（代理）

出席者 ● 第29回神奈川県理学療法士学会会長 前田大助 / 準備委員長 酒井勇紀

出席事務職員 ● 小野田誠子

## ■ 議事内容

### I. 会長挨拶・会長行動報告

### II. 第30回神奈川県理学療法士学会学会長承認の件（承認）

横浜南部地区にて開催予定の2012年度第30回神奈川県理学療法士学会学会長に横浜市立脳血管医療センターの今吉晃氏が就任することが承認された。

湯田理事より第29回神奈川県理学療法士学会学会誌のISSN番号の登録手続きが完了したことが報告された。

### III. 会員異動報告・入会者承認の件（報告・承認）

前回理事会より入会11名が承認され、転入8名、転出3名、復会1名、退会1名、県内異動16名、2011年12月17日現在での会員数3,420名であることが報告された。

### IV. 医療・介護保険改定に関する実態調査協力施設の推薦について（承認）

（社）日本理学療法士協会「医療・介護保険改定に関する実態調査」の協力施設として本会より下記の施設を推薦することが承認された。

- ・ 医療保険施設
  1. 鶴巻温泉病院
  2. 総合川崎臨港病院
  3. 海老名メディカルサポートセンター
  4. 川崎幸病院
  5. 大船中央病院
- ・ 介護保険施設
  1. 足柄リハビリテーションサービス
  2. 介護老人施設さつきの里あつぎ
  3. リハビリケア湘南かまくら
  4. 茅ヶ崎徳洲会総合病院
  5. 介護老人保健施設浜の郷

### V. 県建築士会からの後援依頼（承認）

（社）神奈川県建築士会からの住宅改修に関わる連携事業についての後援が承認された。

### VI. （社）日本理学療法士協会 第50回全国学術研修大会立候補について

本会では、第50回全国学術研修大会に立候補はしないことが承認された。

### VII. 2012年度理学療法士講習会申請について

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、聖マリアンナ医科大学病院、神奈川リハビリテーション病院の3施設から新規講習会2件、継続講習会4件の申請があり、承認された。

### VIII. 次年度事業計画、予算案の審議（報告・審議・承認）

#### ① 各部長・委員長より次年度新規（復活）事業及び予算について説明がされた。

新規（復活）事業は下記の通りである。

- ・ 発達障害支援部：特別支援学校教諭向け講習会
- ・ 介護保険部：訪問リハビリテーションセミナー
- ・ 広報部：インタビュー動画作成による理学療法士啓発活動
- ・ 中途障害支援部：中途障害者に対する転倒予防事業
- ・ 環境支援部：第1回福祉用具スキルアップ研修会・上級コース  
第1回福祉用具スキルアップ研修会・初級コース
- ・ 会員ライフサポート部：復職支援事業（研修会・交流会）
- ・ 医療保険部：医療保険部研修会
- ・ スポーツ支援・健康増進部：小田原ツアーデーマーチに対する支援
- ・ 事務局：会員・県民のための傷害保険への加入
- ・ 会員ライフサポート部：情報発信
- ・ 事務局：学会発表・文献作成等使用

以上の新規事業のうち、広報部の普及活動について

は理事会にて活動内容の承認を得てから事業を行うことを条件として承認された。会員ライフサポート部の学会での情報発信については、その資料作成等の費用については同部の管理費から同部の事業費に変更し、その旅費交通費については、新たに事務局に学術発表などの旅費交通費支援の事業項目を設け、その予算で支出することとなった。同様に、スポーツ支援・健康増進部より申請のあった、神奈川県サッカーチームの国民体育大会へのメディカルサポート事業に関する学会報告のための旅費交通費を、先の事務局予算より支出することとし、5万円から2万円に変更された。今後、公益性の高い報告等を本会として行うものについては、事務局に設けた学術発表などの旅費交通費支援の予算にて支出することとし、2012年度は10万円を計上することとなった。また、この旅費の支出にあたっては、その報告内容等を理事会にて検討し承認していくこととなった。

以上、新規（復活）事業に対する事業内容及び2012年度予算が承認された。

### ②各部長・委員長より2012年度予算が本年度予算の1.5倍以上の継続事業について説明された。

説明内容は下記の通りである。

- ・ウェブサイト管理部のホームページ管理については、ホームページリニューアルに伴う委託費が増大したため予算が多くなった。
- ・スポーツ支援・健康増進部の障害者スポーツ支援に向けた視察については、今年度は会議のみだったが、次年度は実際に視察に行くため予算が多くなった。
- ・公益事業推進部の公益事業広報については、公益法人取得に伴い配布物の印刷製本をやり直すことが見込まれるため予算が多くなった。
- ・臨床実習教育部の臨床実習教育ワークショップについては、アクセスの良い会場確保のため予算が多くなった。
- ・スポーツ支援・健康増進部のスポーツ理学療法講習会については、心肺蘇生法講習会の講師育成や講師、助手の謝金確保のため予算が多くなった。

- ・総務部の2012年度新人オリエンテーションについては、アクセスの良い会場確保のため予算が多くなった。
- ・スポーツ支援・健康増進部の三県省道国際交流メディカルサポートについては、大会前の練習に対する支援を行うためと次年度開催地が神奈川県であるため予算が多くなった。
- ・スポーツ支援・健康増進部の高校野球メディカルサポートについては、高校球児に対する傷害予防講演会予算を含めため予算が多くなった。
- ・公益法人対策委員会の公益法人対策会議については、公益法人取得に伴う登記費用及び祝賀会開催のため予算が多くなった。

上記説明を踏まえ、すべての継続事業に対する事業内容及び2012年度予算が承認された。

### ③林副会長より（社）日本理学療法士協会の会員管理システム移行に伴い、本会の会員管理システムを変更し、会員の動向を確認できるようなデータ処理システムの構築を検討していると報告された。

## IX. その他

- ・湯田理事より神奈川県理学療法士学会学会誌表紙のデザイン案が提示され承認された。
- ・第29回神奈川県理学療法士学会長よりキッズルーム利用料を保険料相当額の500円とすることが報告され承認された。



## Wheelchair for Seating



# GYRO

日本ウイール・チェア株式会社  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31  
TEL 0424-63-1511 FAX 0424-63-3730  
〇九州支店 TEL 093-613-2833 FAX 093-613-2854  
〇関西支店 TEL 06-6391-6022 FAX 06-6391-0927  
〇千葉支店 TEL 043-264-4939 FAX 043-264-4935  
〇福島支店 TEL 0245-46-6981 FAX 0245-45-0800



そのほか当社では  
福祉用具レンタル・販売  
も取り扱っています



車のすなんでも相談







## 「臨床に出て気づいたこと」

臨床にでてあつという間に2年が経ちました。勤務先は急性期病院で、整形外科、内科、外科、心臓血管

外科等があります。今回この原稿を書くにあたり、これまでの自分を見直してみようと考えました。

まず、自分が「治療が出来ているのか」ということです。急性期の病院で働いていると、誰もが一度は感じることはないでしょうか。患者さんが良くなっているのは、「人間の本来の治療力で回復しているだけ」ではないかと悩むことです。確かに患者さんはリハビリテーションを受ける前より関節が曲がる、痛みが減る、歩きやすくなったと言ってくれます。また逆に、痛みがとれない、可動域が広がらないといった苦い経験もしてきました。自分が治療が出来ているなんて大それた発言はできず、そもそもの役割は回復のお手伝いと感ずる場合もあります。学生時代に、自分の手で目の前のこの人を元気にしたい、良くしたいと思った経験を繰り返し思い出します。

ここで話は変わりますが、みなさんは次の数字をみてどんな関係式が浮かぶでしょうか。

2, 3, 11, 13, 19, 28, 55, 88, … 答えは、 $X = \dots$ 。

実は、この関係式に答えはなく、私がただ思いついた好きな数字を並べただけです。ある本によると、人間は勝手に同時に二つ以上のことが起こると関係性があると無意識に考えてしまうそうです。例えば、「お金がないから旅行に行けない」、「イケメンじゃないからモテない」、「足が短いからと走るのが遅い」、等です。少々例えが伝わりにくいかもしれませんが、私はこれらが全く関係していないと考えています（皆さんはどう感じますか?）。でも実際は、理学療法評価の問題点を抽出する際に、それ

を勝手に安易に繋げてしまっていることが多いと感じています。抽出した問題点を繋げる作業はとても大切だとは感じますが、解剖学?、生理学?、物理学?、などの頭の中で考える少しだけの知識で人間の身体についてまとめようとするのは問題だと感じています（いま振り返っても、学生時代の実習レポートは半ば強引な点があったなど・・・、と反省しきり）。話を戻すと、つまり関係性を見つけ出し、なんとなく繋がり、それで良くなると「治療ができた」と安易に考えてしまいがちなことに気づかされました。それで良いはずはなく、そう簡単には問題を繋ぐことは出来ないと感じました。この2年間、患者さんと触れあいながら業務をさせて頂けて、人間の身体は本当に不思議なことが多いと感じています。自分は知らないことが多すぎると反省し、いろいろな参考書を引っ張り出しては、貪欲に学ぶように心がけています。「治療が出来ているのか」というよりは、今は「治療出来るようになりたい」という目標を持ち、本から学んだことだけではなく、臨床でたくさんの経験を積み重ね広い視野を成長していきたいと思えます。

最後に、私は学生時代から始めたアメリカンフットボールをいまでも続けています。患者さんに運動を指導するにあたり、その動作でどんなことを考えればいいのか、どんなふうに動かせばいいのか、どれくらいしんどいのか、それをする事でどうなるのか、といったことがアメリカンフットボールを通して役立っています。これは、頭で考えるだけでなく、身体を動かすことで得ることが大きいからです。是非、この文章を読んで頂いた皆様も理論だけではなく、自分で身体を動かして、その経験から理論へ結びつけることをお勧めします。そろそろ5月病の季節ですが、身体を動かし、リフレッシュをしながら一緒に頑張りましょう。

戸塚共立第2病院 榊原 俊亮

# 解剖 こぼれ 話

## ヒトの脚に鳥の足 — 鷺足 (ガソク) —

動物名を使った解剖学用語はあまり多くありませんが、その中でまず頭に思い浮かんでくるのが魚のヒラ

メのヒラメ筋ではないでしょうか (ヒラメ筋の話は本ニュース No. 241 で書きました)。ほかにはヒラメ筋と同じ下腿に鳥がいます。それが鷺足 (ガソク)、ガチョウの足です。鷺足とは薄筋、縫工筋、半腱様筋の脛骨粗面内側への停止部をさします。この3筋の扇状に広がった停止腱が水鳥の足の水掻きに似ていることから鷺足と呼ばれています。

薄筋、縫工筋、半腱様筋は大腿の3つの筋群 (内転筋群、伸筋群、屈筋群) のそれぞれ1つで、起始や支配神

経は異なりますが、作用は下腿 (膝関節) の屈曲です。膝周辺の疾患に「鷺足炎・鷺足滑液包炎」があり、膝下の内側に痛みを感じます。これはランニングやサッカーをする人、あるいは立ったり、座ったりなどの膝の曲げ伸ばしを頻繁に繰り返すことの多い人にみられる鷺足部の炎症です。鷺足構成筋の扇状に広がる停止腱と内側側副靭帯が錯綜しているために、膝関節屈伸の際に滑液包を圧迫し、これが鷺足炎の解剖学的要因といえます。さらにヒトの直立二足歩行とも関連しています。

ガチョウは野生のガン (ハイイロガン) を家禽化したもので、古代エジプト時代にすでに家禽化されていたようです。数いる水鳥の中でなぜ鷺鳥になったかは定かではありません。皆さんガチョウを見たら (あまり見る機会はないかもしれませんが) 自分の膝のガチョウの足も思い起こしてみたいはいかがでしょう。

昭和大学保健医療学部 解剖学 伊藤 純治  
神奈川県立保健福祉大学 解剖学 柴田 昌和

# いい本みつけ。

日常生活活動の分析—身体運動学的アプローチ

藤澤宏幸編 医歯薬出版 2012.3  
ISBN978-4-263-21400-8 C3047

日本では、アーチストのベスト盤アルバムや各レコード会社の企画アルバムが売れるそうだ。確かに、耳慣れた楽曲が並ぶアルバムはオリジナルアルバムよりも購入の失敗は少ないし、何よりお得感がある。お試し感覚でコンピレーションアルバムを購入したところ、テレビのコマーシャルで流れた楽曲に巡り合ったり、隠れた名曲に出会うことがある。

さて、今回紹介する書籍は、3月末に出



ち上がり・「寝返り」の分析、「坂道歩行」・「水中歩行」など応用動作歩行の分析、さらにはリーチ動作、食事・書字動作など日常生活活動に必要な動作を多くの参考文献からレビューしていることが特徴である。イラストや図表も多く、わかりやすく整理がなされている。学部学生から経験の浅い臨床家、初学者を対象とした入門書で

版された新刊である。まさに動作分析を企画テーマとしたコンピレーション参考書である。編者の藤澤氏と東北文化学園大学リハビリテーション学科のコンピレーションアルバムである。

本書はこれまでにない章立てで日常生活動作の分析を試みるため、22章と付録から構成されている。総論の運動学的概念の整理から、「運動学習」・「運動理論」・「歩行」とつながり、各論では起居動作の「立

あろう。各章で概要を学び、足りないところを補うように、関連文献に結びつけていく使い方がよいだろう。ただし、コンピレーションアルバムがCD容量のギリギリまでに楽曲を詰め込むのと同様に、少し欲張りすぎた感もある。

コンピレーションアルバムの質を左右するのは編集者の力量によるのが大きいらしい。その意味では、ばらばらになりやすいテーマに一貫性を持たせて、わかりやすく解説され、意図が読み取れるこの書籍は編者の力量によるところが大きい。成功した多くのコンピレーションアルバムに第2弾が発売されるように、時代のニーズに合わせた改版を繰り返し、動作分析の入門書のハイフルになることを期待したい。

昭和大学保健医療学部理学療法学科 中村大介

## 学会情報



## 第29回神奈川県理学療法士学会を終えて

準備委員長 小林病院 酒井 勇紀

第29回神奈川県理学療法士学会は平成24年3月25日、天候にも恵まれ大盛況のうちに終えることが出来ました。ご協力頂きました方々に心より御礼申し上げます。

小田原地区は、神奈川県内でも高齢化率が高い反面、医療介護体制が十分とはいえない地域です。そのような地域がら、個々の力では太刀打ちできない物事に対し、皆で力を合わせるにより、それを打破したいとの思いやこれまでの活動から“地域連携が必要な今だからこそ～発揮されるリハビリの力～”というテーマが生まれました。

シンポジウム、公開講座では、多職種の先生方と当事者の先生方にお話頂き、理学療法に本当に求められるものは何なのか、核心に迫ることが出来ました。ランチョンセミナー、教育講演では理学療法の技術、専門性を高めることの重要性やおもしろさ、可能性の広がりを教えて頂きました。口述発表・ポスター発表では83演題各々が持つ理学療法への思いや発展を望む気持ちを教えて頂きました。

学会誌は県学会では初めて1冊の雑誌となりました。大袈裟かもしれませんが、この学会に関わられたすべての方の血と汗と涙の結晶のように思えます。国立国会図書館に納本され、国立国会図書館で検索できるそうです。

少し視点を変えまして、学会の裏側のお話もさせていただきます。準備を始めてみて分かったことは、この学会は小田原地区の人間だけで行うのではないということでした。準備スタート時点から前年度準備委員の川崎の先生方にお時間を割いて頂き、直々にご丁寧な申し送りとお熱い激励を頂き、その後の準備を進める上でもメールでサポートをして

頂きました。学会を毎年、県内の地区ごとに開催されていることで、前年度、前々年度、それよりも前の準備委員の方々が新しい学会を支えておられることに感動しました。そのおかげで、演題募集期間内に83演題もの多数の登録を頂きました。当院からも2演題登録させて頂き、2人ともとてもがんばり、努力と苦勞をしていました。83名の方がそのような頑張られ、この学会を大成功に導いて頂いたことを思うと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に神奈川県全域のPTの力を集結して作られた学会でした。

小田原の準備委員も1年をかけて皆様の発表に花を添えられるよう頑張ってきました。500人の方がいらっしゃり、1年もかけて準備する大きなイベントですので皆ブレッチャーも半端ではありませんでした。通常業務をしながらの準備でしたので、集まることはなかなか難しく、メーリングリストでのやり取りが主でした。学会の1～2か月前は、1日に20～30件のメールは当たり前で、皆様、心も体も休まらずにおり、また思うように担当の仕事が進まず不安を抱えられていました。その反面、私は皆様の不安が増えるほどに、逆に不安なくなっていきました。それは各担当者が、それぞれの仕事を深く理解され、責任を強く持ち、進められていたからです。また、メーリングリストの中でも、余裕のなくなりそうな時には、皆で冗談を交えながらやり取りし、結束力を強めていきました。学会終了後の今は、メール件数が激減し、終わってホッとする反面、さみしい様な気分です。これで終わりではなく、これから何かを始めることを強く望みます。



**Daiwa House**  
大和ハウスグループ

[www.daiwahouse.co.jp/robot/](http://www.daiwahouse.co.jp/robot/)

0120-934-576

ロボットスーツ HAL® 福祉用は全国で稼動中。  
デモンストレーション好評受付中！

お住まいのことからロボットまで。  
お気軽に下記までお問い合わせください。

**大和ハウス工業株式会社**

東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号  
ヒューマン・ケア事業推進部 ロボット事業推進室

メンタルコミットロボット  
パロ 好評癒し中。





## 学会情報

自分自身は準備委員長として、また共同演者として学会準備、発表準備の裏側を全て見てきました。この企画盛りだくさんの学会が当日を迎えるまでには、本当に多くの方々、演者、演者を支えられた方、準備委員、当日スタッフ、学術局の先生方、理事の先生方、それぞれにドラマがあり、その頑張りのもと出来上がっていました。このような熱い思いを持った方を大勢有する、この神奈川県理学療法士学会が本当に魅力的な会であるということと、自分の身近には本当に頼りになる先生方が大勢いらっしゃることを知ることが出来ました。これは私だけではなく、県士会会員の皆様におかれましても同様であり、そのことを再認識頂けたらこの学会が本当の意味で大成功に終われると思います。

第30回神奈川県理学療法士学会は神奈川の顔、横浜で開催される予定です。会場は全国学会と同様のパシフィコ横浜です。これまで通りの神奈川県理学療法士会の絆で盛大な学会にしましょう！



参加者総数	533名
会 員	437名
会 員 外	15名
学 生	46名
一 般	35名
発 表 演 題	83題
口 述	34題
ポ ス タ ー	49題
託 児 利 用	2組



いつでも前向きに  
生きていたいあなたへ。

「がん」「心疾患」をはじめとする生活習慣病や、交通事故によるケガが心配な現代では、万が一のための備えがあれば安心です。いつでも前向きな気持ちで過ごすために、一生涯の医療保障を準備しませんか？

＼新登場／

生きるための  
がん保険 Days

もっと頼れる医療保険  
新EVER  
エヴァー



◎詳しくは、「パンフレット(契約概要)」・「ご契約のしおり抜粋」・「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

■募集代理店

国際保険株式会社

〒151-0051

渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

TEL : 0120-5931-98

FAX : 0120-5544-23

■引受保険会社

Affac アフラック 首都圏総合支社  
(アメリカンファミリー生命保険会社)

〒160-0023 新宿区西新宿1-23-7新宿ファーストイースト17F

TEL : 03-3344-1580 FAX : 03-3344-2028

AF069-2010-0059 3月17日





## 演題発表者のコメント

新戸塚病院 梅原 佑介

「学会で発表してみないか？」そう先輩に言われたとき、やってみたいという気持ちではありましたが大丈夫かな、出来ないだろうな、という不安が勝っていました。ただその時は周りのみんなも発表するし、やってみようかな？という気持ちで県学会発表を決めました。

治療をしながら抄録をまとめていかなければならず、日々の治療に悩みながら結果を出していく難しさを改めて感じました。

抄録では決められた文字数の中で言いたいことを伝えることの難しさに悩み、先輩のアドバイスを参考になんとかまとめました。

抄録を登録してから発表までは時間があり、行動に移すのが遅い自分はなかなかしっかりしたスライドを作ることが出来ませんでした。先輩にフィードバックを4カ月前から頂きながら試行錯誤を繰り返しギリギリまで見せ方、伝え方を考えていきました。限られた枚数で全てを伝えるのは難しかったですが、話の流れを考え、写真を大きく見せて比較しやすくすることで聴衆にもわかりやすいポスターを作製していきました。

学会当日は久しぶりに会う仲間もいましたが、再開を懐かしむ余裕もなく、そわそわしながら開会式を迎えました。ポスター発表は3時過ぎからの為、ここからの時間をどう使うかを考え、食事ものを通らなかったのを覚えています。大人数で行動していると気持ちが落ち着かないので一人で大学内で発表練習をしていました。

本番前になって会場に行く自分のポスターを見てくれている方がいて、それだけでも自分にはプレッシャーに感じました。ただ、前の方の発表が始まると自然と気持ちが落ち着き用意していた原稿を見ることなく発表することができました。

質問もしていただき、自分の考えを伝えることができたと思います。

終わってみるとあつという間だったなという安堵の気持ちと、もっとうまく伝えられたらなという課題が残りました。

この安堵感や課題への気付きは発表した人にしか経験できないものだと思います。

日々の治療もそうですが、患者様について悩み、考え、

結果に対して喜び、また悩み。その繰り返しで成長していくものだと思います。院外で発表することで狭い世界から抜け出し周りの世界を知ることができ自分の成長につながったと感じました。

もし、今発表しようか悩んでいる人がいたらその人の為に背中を押してあげたいと思います。

最後に、今までフィードバックをしてくださった先輩、一緒に発表をした仲間、当日まで準備をしてくださった実行委員の皆様、当日娘を預かってくださった保育室のスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

## 準備委員のコメント

総務部

国立病院機構箱根病院 藤原 葉月

「今度の県学会は小田原です」と、前田学会長にそんな話を聞いたのは、震災前の頃でした。箱根病院からも誰か準備委員になって欲しいとお話がありましたが、その時点では学会の準備委員になれるかどうかは未定でした。そして震災が発生し、計画停電等がありと何かと忙しい日々を送っている頃、再度お願いがありました。3年目になったばかりの私は、私で役に立てるのだろうかと悩みました。しかし、まずは決起会だけでも出してみようと思い、恐る恐る顔を出す程度の思いで参加したのを覚えています。その場で感じたのは、県西地区の諸先輩方の垣根のない仲の良さでした。

その後準備委員の広報の役職を頂いてポスターやチラシの作成といった、普段の業務では絶対に体験の出来ない仕事をさせていただきました。今学会は一般の方にも多く参加していただこうと、ポスターやチラシも一般向けに作成する必要があり、準備委員の先生方から意見を頂き、何度も改訂を行いやっと印刷物が出来上がったときには本当に感動しました。

当日はメイン会場のアナウンスを担当することになり、アナウンス原稿を作成し、限られた時間の中で打ち合わせを行っていくと、少しずつ実感が湧いてきました。前日の準備が終わる頃には、「いよいよ本番か」という思いと、「成

## 学会情報

功するのか」というドキドキとが入り混じった気持ちでした。

当日、アナウンスをかんでしまったり、マイクの混線があったりと小さなハプニングはありましたが、最後のアナウンスを読み終えた後は感無量でした。

最初は不安で仕方なかった私でしたが、当日まで頑張ることが出来たのは準備委員の先生方のお陰だと思います。本当に素晴らしい体験が出来ました。今後は今学会のテーマである「地域連携が必要な今だからこそ～発揮されるリハビリの力～」を胸に、今回ご一緒させていただいた諸先生方と、これからお会い出来るであろう先生方と一緒に県西地区の発展に微力ながらも貢献出来たらと思います。ありがとうございました。

### 財務部

間中病院 早川 智規

今回、私は財務部として学会準備に携わりました。

財務部の仕事は、簡単に言うとお金の管理で、お金が発生する時に仕事が発生します。つまり、お金の動きが無いときは割合に余裕のある係となります。そういうこともあり、準備委員会発足当初、なるべく忙しい係の方のサポートをしようと心がけていたことが今思い出されます。

最初の仕事は、財務部からサポートとして、運営部の打ち合わせに参加することでした。ほぼ何も分からない状態で、一人で運営部の集まりに向かうこと、面識の少ない先輩方の前ということもあり、とても緊張していたことを覚えています。今考えると、私にとって一番大変だった時期かもしれません。

運営部打ち合わせのサポート以外では、大きな仕事無く、準備委員のメーリングリストにくる大量のメールをひたすら静観する時期もありました。何もやっていないことに申し訳なさを感じましたし、寝る間を惜しんで学会準備をされている先生方のメールを見て、ただただ凄いなと思っていました。

私の一番主だった仕事は、学会後の打ち上げの準備でした。関係者、当日スタッフを含め100名を超える方に案内をし、最終的には64名の方に参加して頂くことになりました。学会当日は、打ち上げで頭がいっぱいで、ずっと気が抜けなかったです。無事に乾杯が始まり、参加してくれた方々が楽しそうにお酒を飲んでいるのを見た時、とても

ホッとしましたし、嬉しかったです。

このように、私自身はサポートという形で、参加した学会準備だったと思います。主となって準備されていた先生方の大変さは、私の数十倍はあったと思います。本当にすごいと思いました。勉強させて頂きました。準備委員に声をかけて頂いた学会長に感謝しております。準備委員として一緒に働かせて頂いた先生方に感謝しております。

私が、今まで何気なく参加していた学会は、今回のように一年前から計画し、通常の仕事の合間に苦労して、出来上がったものだと知りました。私の何気ない一日は、大勢の方の一年間で築かれたものでした。分かっていたことですが、それが実体験として感じる事が出来たことが、なよりの収穫だったと思います。

### 運営部

間中病院 村松 泉美

アクシデントの乗り切り方を学びました。平平の私は先輩方の周到な仕事ぶりにただただ感心していました。私の気づかない細部にまで気を配り入念に学会準備が進められていましたが、念入りに準備をしても大小のアクシデントは起こり、先輩方の悩まれる姿を知りました。ですが、困難な事態の乗り切り方がやはり先輩方は違っていました。メールでのやりとりが多くありましたが、依頼するメールや窮するメールなど、文面上でもきちんと意向が伝わりコミュニケーションが取れていたことがさすがだと思いました。会議の場面に於いてもそれは発揮されており、風通し良くいろんな意見を聴きながら落としどころをつけるという大人の術を学びました。私は準備委員としての力はとても微力で、にも関わらず今回関わらせて頂けたことはとても幸運なことでした。先輩方に助けて頂きながらなんとか役目を終えることができました。普段接する機会のなかなかない先輩方と一緒にお仕事できたことはとても良い経験になりました。個人的にはメールは大切に保存しておいて、自分が困ったときに言い回しを引用しようと思っています。また、施設間連絡票など文面だけでコミュニケーションをとらなければいけない場合に、相手に伝わる文章の書き方を工夫しなければならぬと改めて実感しました。

学会を準備する経験をしたことで今後参加する学会をまた違った視点で楽しめる気がします。集客や運営と言ったことが気になるようになりました。小田原を超える大盛況



の学会がたくさん続くことを楽しみにしています。

今回は研究発表もさせて頂きました。研究ができるような設備はありませんが、以前「臨床・研究・教育」が大切と教わり、訳も分からず研究をしてみました。そのなかで気づいたのが、研究するためには「計画→実行→評価」が必要であり、自分の立てた仮説を検証し再評価するという過程がそのまま臨床なのだ分かりました。臨床で湧く疑問を解決するために先行研究を探し、なければ検証するという。人のからだは未知だと日々思うのでまだまだ新しい発見がたくさんあると思っています。日々の臨床を楽しむためにこれからも細々とでも続けていきたいと思えます。

最後になりますが、今回キッズルーム（託児室）の設営に関わらせて頂きました。次に学会のお手伝いをする機会があれば10年後？その時には、利用する側になりたいなあという抱負もあります。（笑）

## 学術部

（有）足柄りハビリテーションサービス 湯田 修

小田原という地域で約10年理学療法士として仕事をしてきました。今回の学会において準備委員として関わらせていただいた際に強く感じたことは、同じ地域にこれだけ沢山の熱い思いを持った理学療法士がいるのだということです。学術部として準備に携わらせていただきました。先生方が発表された演題の査読や座長の調整など比較的早い段階での仕事が多かったのですが、正直自分は日々の業務に追われ、準備委員として十分に関わるとは言い難い状態でした。しかしながら、日々自分より忙しいはずの先生方が夜中の2時であろうと3時であろうと学会準備に関するメールのや

り取りをされていたり、業務の合間をみても準備をされている姿に感動すら覚えました。こういった熱い思いをもった先生方と同じ地域で仕事出来る喜びと、今まで何気なく参加していた学会の裏側でこれだけ多くの先生方が寝る間も惜しんで準備に携わってられる事を知り、今後の仕事へのモチベーション、また学会参加へのモチベーションがとても高くなりました。

今回の学会では新しい取り組みもいくつかありました。学術発表はもちろんのこと、ランチョンセミナーや一般公開講座、医療福祉機器展示会、また小田原の地域に関するお弁当の販売やキッズルームの設備など、学会に参加される全ての方に少しでも充実した時間を過ごしていただけるようにと企画されました。理学療法士のみならず一般の方も過去の学会に引けを取らない参加人数となったのも、こういった内容が影響をしたのではないかと思います。

冒頭にもお話させて頂きましたが、学会準備に携わらせていただいて感じた熱い思いを持った理学療法士の先生方。この1年間で普段の業務だけでは関ることの出来ない、また関わっていたとしても気付くことのできない思いを強く感じる事ができました。

往々としてこういった準備などに参加することに抵抗を感じがちだと思います。しかしながら、参加することで得る物の大きさは計り知れません。小田原のみならず神奈川県内には熱い思いを持った先生方は沢山いるでしょう。自分自身、今回の学会では十分に協力出来たとは言えず、ご迷惑をお掛けすることが多かったと思いますが、今後も自分の能力の及ぶ範囲でこういった仕事に参加させて頂けたらと考えています。なにしろ終わった後のお酒が美味しいですから。

やさしさを、医療を科学する…

**MINATO**

**NEW**

いつでも、どこへでも。

あらゆる場面でも活躍する（コードレス型）レーザー治療器。

**高い疼痛緩和効果を発揮する LLLT（低出力レーザー治療）**

LLLTLow Level Laser Therapy: 低出力レーザー治療には、神経伝導の抑制、血液の改善、抗炎症などの作用があります。治療中の痛みがなく、低侵襲で、高い疼痛緩和効果を発揮する治療法として注目されています。

承認番号：2230082000158000  
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

半導体レーザー治療器 ソフトレーザー

**SOFTLASERY**

JQ-W1

GOOD DESIGN

2011年度グッドデザイン賞受賞

歩運動負荷モニタリングシステム

**MOBILE AEROMONITOR AIE-100i**

モバイルエアロモニタ-100i

高精度+携帯性

- 1 心臓/呼吸リハビリテーション 正確な運動負荷量が処方できます
- 2 スポーツ 酸素摂取量を現場で測定できます
- 3 栄養管理/糖尿病管理 適正な投与エネルギーが決められます

管理医療機器  
特定保守管理医療機器  
認証番号：223AG8Z000203000

承認番号：2230082000158000  
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

横浜営業所 TEL 045(560)3710 〒223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉7丁目13番1号 FAX 045(563)3714

**ミナト医科学株式会社**  
URL <http://www.minato-med.co.jp/>

# 求人案内

## メイサムホール（社会福祉法人くすのき）

### 理学療法士募集

特別養護老人ホームメイサムホールでは「無限の愛、甦る心の灯」を理念とし、ご利用者と親身にふれあい、日々の生活の中で喜びや安らぎを感じて頂けるようサービスを提供しております。

募集人数：正職員 1名

資格：有資格者

勤務内容：デイサービスご利用者の機能訓練

勤務時間：8：30～17：30

休日：週休2日、夏季休暇、年末年始休暇、指定休日（月1回）※年間休日124日

待遇：基本給：【新卒】（22歳）202,000円  
【中途】法人規程により優遇  
（年齢・経験による）

手当：18,000円

交通費：片道2km以上の場合支給

昇給：年1回 賞与：年2回

その他：社会保険完備。有給休暇あり。退職金制度あり。

勤務地：小田急線愛甲石田駅より徒歩15分（車通勤可）

概要：特別養護老人ホーム（59床）  
ショートステイ（20床）  
デイサービス（40人）

応募方法：電話連絡してください。面接時、履歴書持参。

連絡先：〒243-0035 厚木市愛甲2208-1  
TEL046-220-1165 FAX046-220-0641

担当：事務 堀江・吉田

メールアドレス：meisamu-pioneer@public.email.ne.jp

URL：http://care-net.biz/14/meisamu/

## 医療法人社団健齡会 ふれあい東戸塚ホスピタル

### 理学療法士募集

豊かな森に囲まれた当施設は平成19年4月開院以降、人工透析、高齢者向けの専門的医療、リハビリテーション、健診、在宅医療サービス（訪問看護、訪問リハビリ）等の包括的な医療を提供しております。今後も地域・患者さまニーズに応えるべくより一層のリハビリの充実を図っており、広く人材を募集しております。

募集人数：若干名

資格：常勤 非常勤 若干名

勤務時間：8：30～17：00

休日：週休2日（年間105日）、特別休暇（夏季、慶弔）

待遇：基本給、調整手当は、規程による。  
社会保険完備、有給休暇有り、昇給年1回、賞与年3回、交通費全額支給（上限：50,000円/月）、職員用駐車場有

勤務地：JR 横須賀線「東戸塚駅」より無料シャトルバス5分  
概要：【施設基準】脳血管（1）・運動器（1）・呼吸器（1）  
【病床】53床（療養病棟）、97床（一般病棟）、  
リハビリテーションセンター（約400㎡）、人工透析センター（25床）

応募方法：電話連絡の上、面接日を随時設定いたします。  
下記ホームページ（URL）からもご応募いただけます。

連絡先：医療法人社団健齡会 ふれあい東戸塚ホスピタル  
〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃16-8  
TEL045-827-2637 FAX045-827-2647

担当：総務課 中島・伊藤

メールアドレス：ht-hosp@fureai-g.or.jp

URL：http://www.fureai-g.or.jp/ht-hosp/

## 医療法人社団 仲町台さいとう整形外科

### 理学療法士募集

現在 PT 6名と助手数名で楽しくやっています。院長の専門は骨粗鬆症と膝関節外科ですが、症例は急性疾患外傷、片マヒ、スポーツ障害と多彩です。

募集人数：2～3名

資格：理学療法士有資格者

勤務内容：外来通院者の理学運動療法

勤務時間：午前9：00～13：00 午後15：00～18：30

休日：日曜祝日、年末年始、お盆 etc.

待遇：当院規定により優遇、社会保険完備、厚生年金加入

勤務地：市営地下鉄仲町台駅より徒歩1分  
都筑区仲町台1-34-3

概要：外来通院者の理学運動療法 施設基準Ⅱ

応募方法：申込は電話連絡の上履歴書ご持参ください。施設見学も電話で予約してください

連絡先：045-942-8206

担当：齋藤厚子

メールアドレス：saitoort@able.ocn.ne.jp







## 横浜市立脳血管医療センター

### 理学療法士募集

募集人数：非常勤職員 若干名  
 資格：理学療法士免許を有する方  
 勤務内容：理学療法業務  
 勤務時間：8：30～17：15を基本としますが、頻度や時間等は相談に応じます。  
 待遇：給与：本市規定による 時給1,864円  
 通勤手当：実費相当額を支給  
 社会保険：勤務日数により健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険加入  
 休日：4週8休制（土曜・日曜勤務あり）  
 応募方法：応募される方は電話連絡のうえ、面接をいたします。履歴書と理学療法士免許の写しをご持参ください。履歴書は、ホームページからダウンロードできます。  
 連絡先：横浜市立脳血管医療センター  
 〒235-0012 横浜市磯子区滝頭1-2-1  
 電話：045-753-2500（代） FAX045-753-2859  
 担当：リハビリテーション部 松葉  
 メールアドレス：by-ysbckanrika@city.yokohama.jp  
 URL：http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/

## 川崎市教育委員会

### 川崎市職員(非常勤嘱託員)特別支援学校等巡回理学療法士募集

川崎市立特別支援学校など6校の肢体不自由等の児童生徒を対象に評価し、教員が行う自立活動の時間にどのような取り組みを行った良いかアドバイスする。

募集人数：1名  
 資格：理学療法士  
 勤務内容：市内6校を巡回し、肢体不自由等の児童生徒の評価と支援方法のアドバイス。  
 勤務時間：川崎市職員(非常勤嘱託員)：週5日9：00～17：00を基本とする。  
 休日：週休2日、年末年始休暇、夏季休暇4日、有給休暇7日  
 待遇：基本給208,400円。社会保険完備、有給休暇有り、交通費全額支給。  
 勤務地：川崎市総合教育センター（二子新地駅より徒歩15分）  
 応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書送付  
 連絡先：〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6番地  
 電話044-200-2549  
 担当：川崎市教育委員会指導課 上杉・古俣（こまた）  
 メールアドレス：uesugi-ta@city.kawasaki.jp

## 社会福祉法人 親善福祉協会 介護老人保健施設 リハパーク舞岡

### 理学療法士・作業療法士募集

募集人数：常勤・非常勤 若干名  
 資格：有資格者 新卒可  
 勤務内容：リハビリ課に所属して、介護老人保健施設利用者へのリハビリ業務全般  
 勤務時間：常勤：9：00～18：00、非常勤：応相談  
 休日：基本土日祝、夏季、年末年始、創立記念日  
 待遇：新卒初任給例：238,260円（世帯主住宅手当込）～、社保完、賞与年4.4ヶ月以上  
 勤務地：横浜市営地下鉄ブルーライン：「舞岡駅」または「下永谷駅」徒歩8分  
 概要：入所定員100（ショート含む）、通所リハビリ定員30名、PT常勤4名、OT2名  
 応募方法：お電話もしくは写真付履歴書をご送付ください。見学お問合わせもお気軽に。  
 連絡先：045-825-3388  
 担当：事務課 美濃口  
 メールアドレス：minoguchi-hiroaki@shinzen.jp  
 URL：http://business4.plala.or.jp/maioaka/rehapark.html

## デイサービス コスモス

### 理学療法士・作業療法士募集

木原整形外科グループで、リハビリを専門に行っているデイサービスです。グループ内では常勤PT2名、非常勤PT1名、非常勤OT1名が勤務しています。臨床経験豊富な指導者おりますので安心してご応募ください。

募集人数：非常勤 若干名（常勤への登用あり）  
 資格：有資格者  
 勤務内容：デイサービスでのリハビリ業務  
 勤務時間：10時～15時、勤務日数は応相談  
 休日：日曜日  
 待遇：時給2000円～交通費は一日500円まで支給  
 勤務地：横浜市金沢区六浦2-1-20（京急線金沢八景駅から徒歩約8分）  
 応募方法：電話、FAX またはメールでご連絡お願いいたします。  
 連絡先：TEL045-790-3630 FAX045-790-3635  
 担当：木原  
 メールアドレス：kaigo@k-cosumosu.com  
 URL：http://www.cosumosu.co.jp/


**社団法人秦野伊勢原医師会 秦野在宅ケアセンター(訪問看護ステーション)**
**理学療法士(パート)募集 正職員登用あり**

当訪問看護ステーションは医師会運営であり、在宅ケアセンターに属している為、医療と福祉の連携がとり易い職場であり、またチーム体制でサービスを提供している。

募集人数：若干名

資格：理学療法士・普通自動車免許(AT限定可)

勤務内容：訪問リハ

勤務時間：9:00~17:30の間で3時間以上、週2日以上

休日：土、日、祝日、年末年始

待遇：時給1,680~1,980円/時間

勤務地：秦野市曽屋11番地

概要：秦野市内の利用者宅に訪問し、訪問リハのサービスを提供する。

応募方法：電話連絡の上、履歴書(写真貼付)及び資格証の写しを持参又は送付

連絡先：〒257-0031 秦野市曽屋11番地  
TEL0463-81-0996

担当：事務局：渋谷祐子

メールアドレス：h-isikai@tc5.so-net.ne.jp

URL：http://hadanoisehara-med.or.jp/car.html

**宗教法人寒川神社 寒川病院**
**理学療法士募集**

募集人数：常勤 若干名

資格：有資格者・新卒者可

勤務内容：外来リハビリ・入院リハビリ

勤務時間：8:30~17:00

休日：4週8休(年間114日、夏季休暇別)

待遇：基本給、調整手当は、規程による。  
社会保険完備、有給休暇有り。交通費支給。独身寮有り。

勤務地：神奈川県高座郡寒川町宮山193  
JR 相模線徒歩13分

概要：一般病床99床

応募方法：電話連絡のうえ、履歴書を面接の際にお持ち下さい。

連絡先：〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山193  
TEL0467-75-6680

担当：加藤

メールアドレス：samu-hp@estate.ocn.ne.jp

URL：http://www.samukawabyouin.com/

**睦町クリニック・むつみの家**
**理学療法士募集**

主体性を持った活動を重視し、個人の能力を引き出し、日常生活で最大限に活用できるように支援をしております。セラピストは利用者宅の環境調整なども行ってまいります。

募集人数：2名

資格：理学療法士

勤務内容：リハビリ

勤務時間：9:00~18:00

休日：日・祝・その他シフトによる休み・年末年始・夏休み(年間休日124日)

待遇：221,000~280,000円+賞与夏1.5ヵ月、冬2ヵ月

勤務地：横浜市南区睦町1-8-3

概要：クリニック・通所リハビリ・通所介護・グループホーム

応募方法：電話またはメールにてお願いいたします。

連絡先：045-743-6588

担当：管理課 加藤エリザベス

メールアドレス：kato@clinic.or.jp

URL：http://www.clinic.or.jp

**社会福祉法人朋友会 介護老人保健施設ナーシングピア横浜**
**理学療法士募集**

リハビリテーション部門拡充に伴う募集です。  
研修会、勉強会への参加も積極的に支援します。

募集人数：1名

資格：有資格者 新卒可

勤務内容：リハビリテーション業務全般

勤務時間：9:00~17:30

休日：4週8休 年間休日：112日

有給休暇：初年度10日、夏期・冬期休暇：法人規定により決定

待遇：新卒：(税込)240,580円

※世帯主住宅手当込、賞与年3回

経験者の方は前職給与を基に相談させていただきます。  
社会保険完備、退職金制度(勤続3年以上)

勤務地：神奈川県横浜市旭区南本宿町118番19

二俣川駅北口より保土ヶ谷駅東口、美立橋行に  
乗車、本宿バス停下車徒歩1分、車通勤可

概要：入所定員100名

応募方法：電話にて受付後面接、随時見学も受け付けています。

連絡先：〒241-0833 神奈川県横浜市旭区南本宿町118番19  
TEL045-351-0007

担当：事務副主任 加藤

URL：http://homepage3.nifty.com/meiyuukai/



# 求人案内



## 社会福祉法人親善福祉協会 特別養護老人ホーム 恒春の丘

### 理学療法士募集

当施設は、「良質」「親切」「信頼」をモットーに、平成22年2月に開所した、全室個室のユニット型特養です。

募集人数：常勤 1名

資格：理学療法士

勤務内容：当施設に入所されている要介護高齢者のリハビリ個別機能訓練計画書の作成  
\*主任として勤務して頂きます

勤務時間：日勤 9:00~18:00

休日：週休2日 年間休日数125日、夏期休暇、年末年始休暇、慶弔休暇

待遇：月給259,660円~(諸手当含む、経験等考慮します)

社保完備、交通費支給(上限有り)、駐車場有り  
昇給年1回、賞与年2回(昨年実績4.4カ月)退職金共済加入

勤務地：横浜市営地下鉄舞岡駅または下永谷駅より徒歩10分

概要：特別養護老人ホーム恒春の丘、恒春の丘指定短期入所生活介護事業

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書及び資格証の写しを送付して下さい。

書類選考後、追ってご連絡致します。

連絡先：〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町3048-5

電話045-825-8011 FAX045-825-8320

担当：事務長 平野、または事務課 古関

メールアドレス：koseki-natsuko@shinzen.jp

URL：http://business4.plala.or.jp/maioka/kousyunooka.html

求人情報はホームページでも確認できます。  
http://www.pt-kanagawa.or.jp/members/recruit2/  
\*ニュースに掲載されているパスワードが必要になります。

## デイサービス辻堂の海

### 理学療法士募集

平成23年8月開所の新しい施設です。個別運動プログラム(マシーンを使わない運動プログラム)で運動機能を維持・向上に取り組みます。

募集人数：1~2名

資格：理学療法士の有資格者、運転免許

勤務内容：パート

勤務時間：①月~土曜日13:30~16:30

②月・水・土曜日9:00~12:00

休日：日曜日

待遇：非常勤 時給1700円~、経験不問、交通費上限有り

勤務地：JR 辻堂駅から徒歩約10分

概要：通所介護、介護予防通所介護事業所、機能訓練型  
デイサービス

介護保険事業所番号1472203866

応募方法：電話連絡の上、履歴書をご持参下さい。

TEL0466-29-9433

連絡先：〒251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階

担当：株式会社アイエス 代表取締役 関野

URL：http://tsujidonoumi.com/

### お詫び

士会ニュース No. 244において誤植がありました。

P6 会員ライフサポート部活動報告

誤：第1報

正：第32報

となります。

関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを、お詫びいたします。



あなたのニーズをかたちにします  
義肢・装具・車いす・座位保持装置etc

(有)木村義肢工作研究所

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号

TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560



## 編集後記

例年よりも少し遅れての桜の開花、そして本格的な春の訪れとなりました。平成24年度を皆さまはどのように迎えたでしょうか。新人理学療法士の方々、理学療法士を志して学校に入学された方々には、大いに発奮していただきたいと思えます。もちろんそれには、新人や新入生を迎えられる皆さまの発奮もまた欠かせません。ともに頑張りましょう！

さて以前の私は、春という季節があまり好きではありませんでした。というのも、環境が変わったり、人が変わったりして落ち着かない季節であるように感じていたからだと思えます。それが昨年くらいから、陽気が暖かくなり外へ出てみようかと思える春の訪れが待ち遠しく感じられるようになりました。家の中から1歩外へ出てみると、実は外の方が暖かくて、清々しい風が2歩目3歩目を後押ししてくれる。春も良いなあ、と思っている次第です。単に2人の男児を野放しにできるアウトドアに昨年から凝っているから、というだけかもしれませんが。

末筆ながら、本年度もニュース編集部の活動に皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

加茂野

### ◆ニュース編集部員◆

担当理事：福島 努 (株式会社 Re ambitious リハセンター R-studio)  
 部長：加賀谷善教 (昭和大学保健医療学部)  
 部員：中村 大介 (昭和大学保健医療学部)  
 山崎 弘嗣 (昭和大学保健医療学部)  
 稲葉 康子 (昭和大学保健医療学部)  
 加茂野有徳 (昭和大学保健医療学部)

次号の原稿締め切りは**6月6日**です。  
 昭和大学保健医療学部理学療法学科(ニュース編集部宛)

FAX **045-985-7584**  
**news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp**  
 〈原稿は添付ファイルでお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願致します。

### — 求人広告掲載についてのお知らせ —

求人広告はホームページの求人掲載方法からお申込下さい。

ホームページ：http://www.pt-kanagawa.or.jp/  
 お問い合わせは下記迄お気軽にお寄せ下さい。

#### ◎宛先

〒220-0003 横浜市西区楠町4番地12 アーリア20 101号  
 神奈川県理学療法士会 事務局内 広告担当宛  
 TEL. 045(326)3225 / FAX. 045(326)3226  
 メールアドレス：kohkoku@pt-kanagawa.or.jp  
 受付時間：平日 10:00~17:00



結(ゆい)訪問看護ステーション <http://business4.plala.or.jp/ashiriha>  
 小田原市堀之内194-4

地域リハビリテーションセンター  
 小田原市堀之内253-1

児童トイサービス Well  
 予防専門トイサービス Well  
 小田原市久野469

在宅生活を支える  
 足柄リハビリテーショングループ  
**ARIS**  
 看護とリハビリテーション  
 のことなら何でも

看護師・PT・OT・ST  
**募集**

医療・介護・自立支援法  
 地域支援事業など

是非一度  
 見学にいらしてください！

